平成 28 年 5 月 25 日

東京都現代美術館

館長　髙嶋達佳様

国際美術評論家連盟日本支部

会長　峯村敏明

拝啓

新緑の候ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より国際美術評論家連盟日本支部の活動にご理解いただき深く感謝申し上げます。

さて本連盟では「美術と表現の自由」をテーマにシンポジウムを開催することといたしました。

本シンポジウムは、美術における表現の自由とは何か、その自由はどのように担保されているのか、もしくは担保されていないのか等の問題について、昨今の事例から研究し討議することを目的としています。

本シンポジウムでは昨年貴美術館で開催された『おとなもこどもも考える ここはだれの場所？』展における会田家の作品撤去・改変要請問題も取り上げられる予定です。当該問題については会田誠氏の発表した文章、新聞による報道はありましたが、貴美術館からの公式な形での経緯の説明等がございません。

美術館は現代社会において重要な役割を担い、社会や芸術の発展に大きな影響力を持っています。美術館と美術表現の自由について討議することは広く公益に資するものと信じます。つきましては会田家問題に関しまして貴美術館から経緯のご説明をいただき美術館と美術の表現の自由に関し真摯に討議することを可能ならしめていただきたくお願いする次第です。

ご多忙のところ恐縮ですがシンポジウムを本年 7 月 24 日に開催する予定ですので 6 月末日までにご説明をご送付いただければありがたく存じます。また当該説明につきまして美術評論家連盟会員はもとよりシンポジウム等を通じて公表させていただくことを前提とさせていただきたいと思っています。

以上よろしくご高配いただきたく重ねてお願い申しあげます。

敬具

シンポジウム「美術と表現の自由」概要

主催：国際美術評論家連盟日本支部

開催日時：2016 年 7 月 24 日（日）午後 1 時～5 時、会場：東京都美術館 講堂

＊経緯のご説明送付先：102-8322 千代田区北の丸公園　東京国立近代美術館内

国際美術評論家連盟日本支部　会長　峯村敏明宛